

<研究ノート>

## 大正期経営学関係文献から見た 経営学成立史（上）－大正前期

片岡信之

以下に掲載する文献リストは、大正期前半期（大正1～8年）期間における経営学関連文献を通じて見た経営学成立にいたる動向の概観である。

これに関係する拙稿は、すでに「大正期の経営学関係文献（一）」（龍谷大学『経済経営論集』20巻2号，昭和55年8月），「大正期の経営学文献（二）」（龍谷大学『経済経営論集』20巻3号，昭和55年11月）が，資料として公表されている。これらは拙稿「明治時代の経営学的経営文献」（龍谷大学『経済経営論集』20巻1号，昭和55年6月）以後，「戦前昭和期の経営学関係文献（十完）」（龍谷大学『経済経営論集』23巻2号，昭和58年9月）に至る全13回に亘る膨大な文献リストの一環をなしている。

（これらの文献リストは，筆者が長年書き取ってきた個人的文献カードを公表したものであった）

これらを使って日本経営学史を書くのを，当時から筆者のライフワークとして位置づけ，明治期についてとりあえず1冊に纏めた（平成2年）。その後，他のテーマで並行していた研究の纏めや学内行政，社会活動等で予想以上に精力と時間をとられ，大正期の経営学史研究の纏めは随分遅れ，一時中断のやむなきに至った。資料は殆ど揃っていながら，結果的に，中断は約20年近くにもなった。

しかし，2008年度国内研修期間を桃山学院大学から与えられたのを機に，ようやく久しぶりにこの学史研究作業を再開させた次第である。

先に発表した大正期文献リストと本稿との異同は下記の通りである。

(1) 過去に発表した文献リストは、筆者が書きためてきた文献カード（単行本、論文）を、文献の公刊年度別に仕分けして掲載しただけのものであるが、本稿では、下記の整理に見られるように、学史発展の跡が一定のテーマ・柱建てのもとに再編され、経営学成立に至る流れが相互関係において良く理解できるように再編成されている。この整理は、筆者がこれから大正期の日本経営学成立史を書き上げるための基礎的準備作業の一環をも兼ねている。

(2) 過去に発表した文献リストには、単行本だけでなく、当時発行されていた大学・高等商業学校の機関誌や民間雑誌に掲載された経営学・商学・会計学等の論文（単行本の何倍にも及ぶ）に至るまで収録していた。しかし本稿では雑誌論文は一切割愛している。大正期日本経営学成立史を概観するには単行本レベルだけで十分であり、論文については、必要な限りにおいて参照し、予定している著書の中では取り上げる予定だからである。雑誌論文レベルまで検索を希望する読者は前記の拙稿を参照して戴きたい。

(3) 過去の文献リスト公表後、折に触れて私として発見・追加した文献も結構多い。今回の文献リストでは、こうしたその後の文献発掘作業の進展が反映されている。

すでに拙著『日本経営学史序説—明治期商業諸学から経営学の胎動へ—』（文眞堂、平成2年）において、江戸期商人学から商業諸学、商業学、商業経済学、商業経営学に至る発展動向までのところは明らかにしておいた。

明治期を初期・中期・後期と区分してこの流れを考察した場合、明治期の末には、①商業経営学や工業経営論の萌芽が国内のいくつかの著書において見られるようになるとともに、②同時期ドイツ経営学方法論争の影響を受けて「企業」と「経営」の概念論争が始まり、また、③不完全ながらテイラー・システムのアメリカからの紹介が開始された、と総括することができる。その意味では、未だ経営学が成立したとは言えないにせよ、確実に胎動が見られてきていたのであった。この詳細については、上記拙著を参照されたい。

さて、明治後期の、それも大正に改元される直前頃から胎動を見始めた外

国文献の紹介－とくにアメリカのテイラー・システムを中心とした科学的管理法やそのエピソードの著作類の紹介－は、大正期に入るやいなや、偶然にも、ブーム的な隆盛を見ることとなった。

そしてこれらの翻訳を通じて、明治期の商業学、商業経営学などは、新しい内容を取り込んだモノとして発展してくるようになるのである。

### 欧米経営学関係書の翻訳・公刊ブーム

大正期に入るやいなや、欧米の経済・産業事情・商工業政策などに関する紹介が数多く始められる。とくに農商務省を中心として、このような活動が活発化した。

これらの動きと連動して、当時のアメリカにおいて注目されてきていたテイラー・システム、科学的管理法関係の文献が、テイラーはもとよりそのエピソードを含む翻訳紹介として行われ始めた。そして、この流れは明治期末に変化を見せつつあった日本の商業学、商業経営学、工業経営論の研究動向に大きく影響を与えることとなる。

明治45年＝大正元年（1912）

F.W.テラー（横河民輔纂訳） 科学的経営法原理 非売品（日本科学的管理史資料集 第2集（図書篇） 第1巻 五山堂 平成7年所収）

F.ギルブレス（大壁早治訳） 手数省略新式工場管理法 大倉書店（日本科学的管理史資料集 第2集（図書篇） 第1巻 五山堂 平成7年所収）

G.M.フィスク（松崎寿訳） フィスク氏商業政策 巖松堂

C.デー（三上正毅訳） 世界商業史 隆文堂（訂正増補5版大正元年）

R.マイル（高尾常磐訳） 世界商業史 博文館

H.R.ハットフィールド（海老原竹之助訳） 最近会計学 博文館

大正2年（1913）

G.M.フィスクほか（伊藤重次郎訳） 国際商業及交通 大日本文明協会（大日本文明協会刊行書第2期 第24編）

W.T.ステッド（坂本国三郎訳） 無冠の帝王 カーネギー詳伝 内外出版

## 協会

- F.W.テラー（星野行則訳） 学理的事業管理法 崇文館書店
- H.ミュンスターベルヒ（岡本芳次郎・樋口龍峽訳） 濟世之本義 二松堂書店
- F.A.クリーブランド（海老原竹之助訳注） 資金と其運用 博文館  
大正3年（1914）
- E.ベルンハルド（矢島家幸解説） 労働功程論 宝文館
- F.W.テイラー（鉄道院総裁官房研究所訳） 工場会社学理的経営法（業務研究資料9別冊） 鉄道院総裁官房研究所
- E.D.ジョーンズ（協調会抄訳） 産業福利施設概要 協調会  
大正4年（1915）
- W.G.スコット（佐々木十九訳） 模範広告術 佐藤出版部
- H.ハウリングウォース（佐々木十九訳） 広告と販売 佐藤出版部
- H.ミュンスターベルヒ（鈴木久蔵訳） 実業能率増進の心理 二松堂  
ヴァンクリーヴ（中村茂男訳） 新説改良複式簿記 同文館
- W.D.スコット（佐々木十九訳） 広告心理学 佐藤出版部
- E.P.モクセイ（旦陸良訳） 工場原価計算論 帝国会計協会
- F.ファリングトン（松宮三郎・中村登利三訳編） クラークブック 佐藤出版部  
大正5年（1916）
- A.マーシャル（川部熊吉訳） 産業経済解説 記者刊
- N.A.プリスコ（大石熊吉訳） 現代商業経済 良書刊行会  
大正6年（1917）
- N.A.プリスコ（井関十二郎訳） 工場能率経済 同文館（大正6年再版  
大正9年6版）
- H.W.ドレッサー（大日本文明協会訳） 能力の研究 大日本文明協会
- F.リンドセイ（中村西圃訳） 販売心理学 保険銀行通信社
- D.スターチ（郡山幸男訳） 広告の理論と実際 佐藤出版部

- J.H.ロックウッド（大日本文明協会訳） 富の創造 大日本文明協会
- G.ゴータイン（外交時報社編集局訳） 戦後のドイツ商業 外交時報社  
大正7年（1918）
- C.E.ノエッペル（三菱合資会社査業課訳） 能率増進法の採用 三菱合資会社
- H.アトキンソン（三菱合資会社査業課訳編） 合理的賃銀制度 三菱合資会社（調査彙報25号）  
日本銀行臨時調査委員会訳 英国戦後商工業政策調査委員会最終報告要領  
日本銀行
- B.C.ジーフ（大蔵省臨時調査局訳） 露国株式組織企業に於けるドイツ資本  
大蔵省臨時調査局  
スノー（菅吉暉訳） 外国市場開拓に対するドイツの方策 朝鮮銀行調査局
- S.H.ブンネル（高塚栄訳） 製造業と原価計算法 紡織雑誌社
- B.A.フランクリン（中弥三郎・須崎国武訳） 能率増進の実際 平凡社
- T.G.ロバーツ（三菱合資会社査業課訳編） ロバーツ著工業管理法論 三菱合資会社（調査彙報24号）
- K.レーマン（津島憲一訳） 株式会社法史 有斐閣  
大正8年（1919）
- T.ラスピエル（農商務省臨時産業調査局訳） 仏蘭西ニ於ケル製鉄業 農商務省（農商務省臨時産業調査局『調査資料』21号）
- S.ゾーンレー（農商務省農務局訳） ドイツに於ける諸種の小産業 農商務省農務局
- E.ホニヒマン（通信省臨時調査局訳） 独逸及奥匈国の電機工業 通信省臨時調査局
- B.トムソン（時国理一訳） 科学的経営法の理論と実際 日本評論社
- A.シャドウェル（水上梅彦訳） 欧米工業能率－英米独国民性と工業との関係 国産時報社
- W.ゾンバルト（農商務省商工局訳編） 工業労働問題 農商務省商工局

- W. ゾンバルト（鈴木豊訳） 労働問題と労働政策 有斐閣
- B. ムッシオ（時国理一訳） 現代商業心理学講話 日本評論社
- P. H. ニストロム（鹿野千代穂訳） 小売商及店舗経営論〔正〕, 続編 敬文堂書房 東山堂 世界堂 大正8-9年
- フレイラー（農商務省臨時産業調査局抄訳） 戦後の商業政策 農商務省（農商務省臨時産業調査局『調査資料』29号）
- H. アトキンソン（松本悟郎訳） 合理的賃銀制度 日本評論社
- C. H. ヴァーリル（農商務省商工局訳） 欧米最低賃銀法 国産時報社
- A. W. バリット（板橋卓一訳） 利益分配の理論と実際 日本評論社

### 商業学, 商業経営論, 商業諸学の内容的变化と新動向

上で述べたように、欧米文献の紹介によって、明治期以来伝統の商業学、商業経営、商事要項などを名乗る書の中には、改訂などで新しい欧米動向を記述の中に摂取したものが現れた。

また、商業の各論的商業諸学にあっては、広告、店前陳列、装飾、（心理学を応用した）販売術、商店組織、売買、通信販売等、明治中期-後期頃から出はじめていた論点が、新しい欧米の動向（とくに科学的管理法の系譜の思考、欧米の新しい商業実践）を取り込んだ形で、新しい内容を盛り込んだ展開を見るようになる。商業諸学においてこうした動きを代表して精力的な商人指導に活躍したのが『実業界』編集局の井関十二郎と『商店界』社長の清水正巳であった。彼らの著作は実務家向けの書き流しスタイルの通俗書で、学術研究書ではないが、当時の商業が置かれていた状況と問題意識をリアルに伝える意味では、眼を通す価値のあるものである。

#### 商業学・商業経営学

明治45年＝大正元年（1912）

内池廉吉 商業学概論 同文館 修訂改版第8版（大正3年訂正版 初版明治39年）

中村茂男 商業通論 明治大学出版部（明大講義録）

土屋長吉 新式商業実践法 大倉書店

土屋長吉 新式商業実践法 成美堂

岡崎孝一・川村善輔 商業の理論及実務 叡松堂

日本店員実務講習会 商業経営策講義（上巻） 日本店員実務講習会

小林行昌 商事要項及商業算術 丸善（大正8年修正版）

大正3年（1914）

原田祐三 商業学通論 実業之日本社（大正3年3版）

坂本陶一 最新商業通論 同文館（大正6年4版）

星野太郎・滝谷佐次郎 商事要項

大正4年（1915）

石川文吾 商業通論 訂6版 大倉書店（初版明治43年）

大正5年（1916）

佐野善作 新撰商学提要 三省堂（大正7年修正3版 大正10年改訂3版

大正15年改訂5版）

浜田四郎 現代式商店の経営 佐藤出版部

佐々木十九 模範小売商店の組織 二松堂

佐々木十九 模範小売店経営法 二松堂

大正7年（1918）

北沢新次郎 商業要論 宝文館

富中参三郎 商業経営雑話 辰文館

大正8年（1919）

島俊徳 系統的商業学 文英堂

渡部明 商業通論 宝文館

島田武夫 商道の極意 大阪・整美書院

津村秀松 商業政策（上巻，下巻） 東京宝文館（改訂6版 初版明治44年）

商業諸学

明治45年＝大正元年（1912）

安田善次郎 克己實話 二松堂書店（昭和53年ダイヤモンド社・雄松堂復刻）

森村市左衛門 独立自営 実業之日本社（昭和53年ダイヤモンド社・雄松堂  
復刻）

日比翁介 商売繁盛の秘訣 大学館

岩間茂次郎 小諸商業慣習 小諸商工学校

丸山幹治（侃堂）・今村南史 丁稚制度の研究 政教社（平成10年久山社復  
刻）

致富研究会編 新案営業（確實有利） 富文研究社

大正2年（1913）

洪沢栄一述・井口正之編 洪沢男爵実業講話（乾，坤） 帝国図書出版

原田祐三 商業孫子 東亜堂（大正2年3版）

今井友次郎 海外商業実務 博文館

榎本秋村 実業経典 実業之日本社

桑谷定逸 商略 同文館

同文館編集所編 国民商業辞典 同文館

松崎寿・細井安次郎 商事要項問答 松邑三松堂

小笠原繁夫 質屋の研究 良明堂

石井研堂 独立自営業開始案内 博文館

依田信太郎 最新実業宝鑑 光文館

堀田善太郎 広告の話 石川県（石川県通俗教育）

大正3年（1914）

武田英一・滝谷善一郎監修 最新英和商業辞典 宝文館

円城寺良 商店繁栄策 佐藤出版部

松倉順一 店頭裝飾商品陳列法 博文館

江口岳東 最新商品売込術 実業之日本社

井関十二郎 飾窓の飾方 実務叢書発行所（実務叢書第1巻）

井関十二郎 生きた広告 同文館（実務叢書第2巻）

井関十二郎 商戦必勝 物いふ手紙 実務叢書発行所（実務叢書第3巻）

平岡敬一 自由自在広告法 南北社



大正4年（1915）

- 洪沢栄一著・井口正之編 青淵修養百話（乾，坤） 同文館  
井関十二郎 新式販売術 実務叢書発行所（実務叢書第4巻）  
円城寺良 商店繁栄策 佐藤出版部  
井関十二郎 現代式経営 実務叢書発行所（実務叢書第5巻）  
井関十二郎 最新売出案 実務叢書発行所（実務叢書第6巻）  
井関十二郎 広告の仕方 実務叢書発行所（実務叢書第7巻）  
井関十二郎 屹度当る小店経営法 佐藤出版部  
佐々木十九 広告と販売 佐藤出版部  
中尾清太郎 今日の広告学 秋田書店  
堀田善太郎 広告の戦略 四方堂書店（大正5年3版）

大正5年（1916）

- 石井民司 世界商業百談 佐藤出版部  
井関十二郎 店頭装飾図案 同文館  
井関十二郎 陳列構造 店内と店前 実務叢書発行所（実務叢書第8巻）  
井関十二郎 其まま使へる第二現代式広告文句 佐藤出版部  
依田信太郎 心理応用 売る法買わせる法 佐藤出版部  
小林行昌 商業売買（上巻） 宝文館（下巻 大正9年）  
秋山紅之助 最高効率新商略 長久社書店（プラチナ叢書 第1編）  
秋山紅之助 確かな商賣 長久社書店（プラチナ叢書 第2編）  
佐々木十九 実業秘訣 損して得取れ 二松堂  
佐々木十九 商売繁盛の秘訣 無駄を省く法 平和出版社  
秋山紅之助 通信販売成功の近道 長久社  
東京高等商業学校調査部 商業書式 三省堂  
蘆川忠雄 商業道德事務の取扱方 佐藤出版部  
清水正巳 通信販売小資本成功法 佐藤出版部  
清水正巳 小資本で開業してどうすれば儲かるか 佐藤出版部  
清水正巳 現代式小売店顧客待遇法 佐藤出版部

- 依田信太郎 学理の商略法 販売員と販売術 博文館  
 山本邦之助 世間の求むる理想的店員 平和出版社  
 商業叢書刊行会編 クラーク入門 (商業叢書第1編) 岡村書店  
 山口亀之助 英和広告文句集 佐藤出版部  
 清水正巳 広告カット及広告文句 佐藤出版部  
 清水正巳 小売商店広告法 佐藤出版部  
 円城寺良 実用新聞雑誌広告術 佐藤出版部  
 大正6年(1917)  
 久留義郎 実用購買論 東京出版社  
 依田信太郎 商店の組織及経営 博文館  
 佐々木十九 小資本商店経営法 弘道館  
 浜田四郎 小売商店経営法 早稲田大学出版部  
 蘆川忠雄 新式経営 商店管理法 佐藤出版部  
 依田信太郎 繁昌実例 販売商略 佐藤出版部  
 円城寺良 販売力増進策 佐藤出版部  
 清水正巳 現代式経営 呉服店繁盛策 佐藤出版部  
 北澤新次郎 最近広告論 東京出版社  
 佐々木十九 奇抜な広告で成功した実例 佐藤出版部  
 大正7年(1918)  
 石川文吾 売買論 大倉書店(訂正9版 初版明治39年)  
 黒崎雅雄 広告文化 正路喜社  
 佐藤卯兵衛編 最新絵入広告文 佐藤出版部  
 商店雑誌社編 繁盛する小売店の経営 佐藤出版部  
 木村浪雄 商人常識の修養 高文館  
 有馬祐政 商人道 弘道館  
 大正8年(1919)  
 佐藤卯兵衛編 小資本で儲かる商売 佐藤出版部  
 千早正寛 応用自由 現代広告文句辞林 佐藤出版部

蘆川忠雄 実業と商略 大盛堂書店

渡辺館 国民の心得べき商業の知識 岡崎文進堂

蘆川忠雄 商店の実務と経営 大盛堂書店

清水正巳 客をそらさぬ販売談話術 佐藤出版部

石井研堂 小資本商工開業案内 博文館

馬場太吉郎 商店員と利益配当 馬場商店

### 倉庫・銀行・取引所

内池廉吉 倉庫経営論 同文館 大正元年増補版（訂正版大正3年 初版明治41年）

渡辺明 倉庫業 宝文館 大正3年

高垣寅次郎 銀行集中論 東京銀行集会所 大正3年

小林行昌 倉庫論 巖松堂 大正4年

小山正之助 取引所研究 信義堂 大正7年

橋本喜作 紐育株式取引所 ダイヤモンド社 大正7年

### 商品学

馬場正太郎 商品学要領 広島商業学校 大正元年

星野太郎 重要商品学 大倉書店 大正元年

羽生久安・安田綱太郎 最新商品学教科書 宝文館 大正5年（訂3版（再訂））

田所哲太郎 重要商品精義 同文館

### 商業史

高島誠一 新体商業史（日本之部，外国之部） 六盟館 4版大正2年（初版明治44年）

谷攝山編 最近商工史 報知社 大正7年

## 工業化・近代的新事業探求への志向の高まりと議論の変化

明治中期以後発展してきていた工業化の進展によって、工業が重要な位置を占めるようになってくるにつれて、工業・製造業に対する関心も一層強く

なってきた。欧米の各種工業事情についての調査が農商務省を中心に相次いでなされている。

また、工業経営に関する実務・設備・管理に関する書が出はじめる。明治末期には窪田重式『工業実地経営論』（明治41年）以外には工業政策、工業経済、商工政策、産業政策として論じられてきた工場内実務や組織、管理の問題を、真正面から論じようとする書が幾つか現れ始めたことであった。

### 欧米工業事情の紹介・報告書

星野行則 見学余録 警醒社 明治45年

農商務省商務局 米国における缶詰業 農商務省商務局 大正2年

大日本文明協会編 欧米之製造業（上，下） 大日本文明協会 大正4年

古仁所豊 最近独逸産業の発達 大倉書店 大正4年

農商務省商工局編 米国におけ加里給源調査報告書（『商工彙纂』44号）

大正5年

農商務省商工局編 北米合衆国窯業調査報告書（『商工彙纂』45号） 大正

5年

農商務省商工局編 商工業に関する施設 農商務省商工局 大正5年

農商務省臨時産業調査局編 調査資料（第1，第2，第3） 臨時産業調査

局 大正6年

農商務省臨時産業調査局編 諸外国に於ける緬羊及羊毛に関する政策 臨時

産業調査局 大正6年（調査資料第4号）

農商務省臨時産業調査局編 第3回臨時海外派遣官報告集（第1～第3）

農商務省商工局 大正7年

農商務省臨時産業調査局編 支那の蚕糸業 農商務省臨時産業調査局 大正

7年（『調査資料』第16号）

朝鮮銀行調査局編 英米における製鉄業の趨勢 朝鮮銀行 大正7年

ウンテルベルゲル（大蔵省臨時調査局金融部訳） 沿黒龍地方ニ於ケル産業

大蔵省臨時調査局 大正7年

農商務省商務局編 独米両国におけるセメント工業（『商務彙纂』） 大正8

年

農商務省臨時産業調査局訳 佛蘭西に於ける製鐵業 大正8年（『調査資料』第21号）

農商務省臨時産業調査局編 南北米州經濟事情に関する調査 農商務省臨時産業調査局 大正8年

農商務省臨時産業調査局編 支那に於ける曹達原料 農商務省臨時産業調査局 大正8年（『調査資料』第39号）

南滿州鐵道株式会社東亞經濟調査局編 ドイツ製鐵業 南滿州鐵道株式会社 大正8年

南滿州鐵道株式会社東亞經濟調査局編 フランス製鐵業 南滿州鐵道株式会社 大正8年

日本銀行臨時調査委員會編 仏国の製鉄問題 日本銀行  
工業經營への関心の高まり

阪田貞一・関口八重吉 機械工業大意 早稲田大學出版部（早稲田商業講義）  
大正元年（初版明治43年度）

高田保馬 分業論 京都法学会 大正2年

関一 工業政策（上，下） 宝文館 大正2年訂正再販（初版明治44年）

中村康之助 工業常識 丸善 大正2年

萩原古寿 電気事業及其經營 電気事業叢書刊行会 大正4年

会社事業と戦後經營（『東洋經濟新報』臨時増刊） 東洋經濟新報社 大正4年

後藤喜間太 日本之模範工業（工場巡り） 報文社 大正5年

鈴木恒三郎 工場管理実学 ダイアモンド社 大正5年（大正8年3版）

後藤喜間太 工業帝国：勃興雄飛 石英堂書房 大正6年

三菱合資会社調査課 製鉄所の組織 三菱合資会社 大正6年

村田栄次郎 現代事業之研究（前，別篇） 村田栄次郎 大正6年

中川元治郎編 実業家之戦後經營 実業社版 紡織雜誌社版 大正6年

梶田喜一郎 工場設備計画 梶田工業研究所 大正7年

東方経済調査会編 戦後の事業 昭文堂 大正7年

社会政策学会編 小工業問題（社会政策学会論叢第11冊） 同文館 大正7年

農商務省商工局編 自局之工場及職工に及したる影響 農商務省商工局 大正8年

小林丑三郎・岡本利吉 産業組織の改造 企業立憲協会出版部 大正8年

古館市太郎・佐橋賢次 造船造機鉄工 工場須知 松邑三松堂 大正8年  
（同年再版）

松崎寿 工業政策 巖松堂 大正8年

## 科学的管理法の紹介・流入

明治末には、テイラー・システム（科学的管理法）は僅かに安成貞雄（非専門家、記者）によって「科学的操業管理法」として『実業之世界』誌に掲載・紹介されたにすぎず（明治44年，1911），まだ殆ど産業界にも知られていなかった（前掲拙著，359ページ以下参照）。内容理解も，必ずしも十分でなく，間違いも含まれていた。

しかし，大正への改元とともに，状況は一変する。テイラーの科学的管理法が翻訳・公刊され，また，紹介も多方面で行われるようになった。平易な通俗解説書も多数売れるようになり，科学的管理，能率増進は産業界に広く知られるようになったのである。この背景事情として，上述の工業化の進展があったことは言うまでもない。

### 科学的管理法の紹介

明治45年＝大正元年（1912）

星野行則 見学余録 警醒社書店

神田孝一 実践工場管理 杉本光文館（大正2年3版 大正5年改訂版／昭和52年増補改訂版人間の科学社）

同文館編 サイエンティフィック・マネジメント（『実業界』誌臨時増刊）  
大正元年

大正2-3年（1913-14）

- F.W.テイラー（星野行則訳） 学理的事業管理法 崇文館 大正2年  
池田藤四郎 無益の手数を省く秘訣 東京魁新聞社出版部（黄色叢書第1編）  
大正2年 のち大正10年エフィエンスー協会版／昭和8年マネジメント  
社調査部版／平成7年奥田健二・佐々木聡編『日本科学的管理史資料集  
第2集（図書篇） 第1巻 五山堂書店 所収  
松本亦四郎 精神的動作 六合館（大正4年再版）

大正4年（1915）

- エフィエンスー調査会編 能率増進法 春秋社  
日本陶器株式会社 工程増進新研究法 日本陶器株式会社

大正5年（1916）

- エフィエンスイ研究会編 商工能力充実法 産業書院  
鈴木恒三郎 工場管理実学 ダイヤモンド社 大正5年（大正5年再販 大  
正8年3版）

森山弘助 機械工場利益増進法 工業教育会

大正7年（1918）

- 三菱合資会社査業課編 能率増進法の採用（翻訳紹介）（『調査彙報』27号）  
勝田一 能率増進工場設備 同文館

千葉命吉 知行合一考査革新に関する研究 目黒書店

大正8年（1919）

- 農商務省工務局 欧米工業能率 農商務省工務局  
市川忠一 科学的管理法 大日本文明協会  
石田勝三郎 こうして能率を増した実例 エフィエンスー社  
上野陽一 人及事業能率之心理 同文館  
佐野勝巳編 時間及疲労を省く工場と労働 西川精文館  
大日本文明協会編 科学的管理法 大日本文明協会  
藤本喜三・小島正堂編 経験に基ける工業管理の実際 西川精文館（大正8  
年再版）

## 産業心理・賃銀・福利厚生・労使協調・工場法・職工問題の浮上

科学的管理法の紹介と実務的普及によって、これに関係する諸領域である賃金（賃銀）、能力訓練、疲労、産業心理、福利厚生などの研究へと関心が向けられることとなった。

また、日本で最初の労働者保護立法である工場法が明治末（明治44年、1911）に公布され、大正5（1916）年から実施されたことがあって、これに関連した議論が盛んになった。

このように大正前期に生まれた系譜を異にした諸議論が、人事管理論形成の方向に向けて、大正後期にはますます多数発表されていく皮切りとなった。明治45年＝大正元年-2年（1912-13）

松村光三 賃銀論 宝文館（経済学商業学研究叢書第1冊） 明治45年

豊原又男（桑田熊蔵） 工場法要義 一星社 大正元年

宇野利右衛門 職工問題資料（第1輯） 工業教育会出版部 大正元年

東京高等商業学校調査部編 職工取扱に関する調査（官業工場之部） 東京高等商業学校 大正元年（調査部報告第3回） 注記：民業工場之部は明治44年（調査部報告第1回）

宇野利右衛門 職工の住居と生活 工業教育会出版部（職工問題資料第2輯） 大正2年

大正3-5年（1914-16）

社会政策学会編 労働争議 同文館（社会政策学会論叢第7冊） 大正3年

原口鶴子 心理査業及疲労之研究 北文館 大正3年

山縣憲一 職工組合論 東京宝文館 大正4年

鈴木恒三郎編 労働問題と温情主義 一名温情主義の実験と其反響 用力社 大正4年

宇野利右衛門 職工問題解決法 工業教育会出版部 大正4年

宇野利右衛門 職工優遇論 工業教育会 大正5年（職工優遇論総論第壹）

宇野利右衛門 職工優遇法之根拠 工業教育会 大正5年（職工優遇論総論



第3)

- 岡崎華堂 工場法の理論と実際 公報社 大正5年
- 田辺好一 各国参照工場法要義 広文堂 大正5年（同年増補版）
- 寺澤巖男 長期練習と作業能力の進歩 改造社 大正6年
- 農商務省商工局編 工場及職工に関する庁府県令 農商務省 大正6年
- 千輪浩 疲労と練習 心理学研究会出版部 大正6年（心理叢書／松本亦太郎編第4冊）
- 松沢清 工場法研究 解釈論・前編 有斐閣書房 大正7年
- 三菱合資会社査業課 米国に於ける工場委員会 三菱合資会社 大正7年  
（調査彙報37号）
- 大正8年（1919）
- 大阪市社会部調査課編 織維染織工業会社又は工場に於ける雇主の福利厚生  
費増進施設調査 大阪市社会部調査課
- 南満州鉄道株式会社編・大塚素著 フォード自動車会社職工待遇梗概 南満  
州鉄道株式会社（総務部調査課調査資料第7輯）
- 岡本利吉 企業組織と労働保険 文雅堂（大正10年3版）
- 鐘淵紡績株式会社 従業員幸福増進に関する施設及取扱方法 鐘淵紡績株式  
会社／間宏監修『日本労務管理史資料集』（第1期 第3巻慈恵の施設と  
福利増進施設）五山堂書店 昭和62年所収
- 農商務省商工局 時局の工場及職工に及ぼしたる影響 農商務省
- 佐野克己 時間及疲労を省く工場と労働 西川精文館
- 野口直人・小林愛雄編 知識及体育試験に依る善良なる雇人採用法 西川精  
文館
- 法律研究會編 素人にわかる各国参照工場法要義：新工場法施行令・同施行  
規則 広文堂書店
- 榊本卯平 工場より見たる日本之労働生活 同文館
- 林癸未夫 温情主義的施設 警醒社
- 林癸未夫 利潤分配制度 人道社

大蔵省臨時調査局金融部編 労働時間に関する各国の制度 大蔵省臨時調査局金融部（財政経済時事問題研究6号）

片岡辰次郎・座間勝平 資本と労働の強調 政経時論社

三菱合資会社紐育支店編 米国に於ける産業協議会の経過 三菱合資会社実業教育論

上田貞次郎監査 欧米高等商業教育之現況（調査部第5回報告） 大正2年 東京高等商業学校

秋保安治 工業教育と職工養成 養賢堂 大正6年

### 工業財務論・株式会社財務論の登場

松崎寿 工業金融論 隆文館 大正2年

橋本良平 株式会社財務論 巖松堂 大正6年（大正9年 株式会社経営論 経済社出版部 内容同一）

名古屋経済会編 小商工業者の資金について 名古屋経済会 大正6年

興梠李太郎 商業資金の運用 佐藤出版部 大正6年

興梠李太郎 工業財務論 太田書店 大正7年

興梠李太郎 資金経済 工業財務論 天地書房 大正8年

田尻稲次郎 投資及経営 誠文堂 大正8年

### 簿記学・会計学の変化

森田熊太郎 新簿記法理法の研究 啓成社 大正元年

松村吉則 簿記学 早稲田大学講義録 大正元年

川口酉三 銀行事務解説：記帳対照 博文館 大正元年（訂13版大正13年）

工藤重義 会計論 早稲田大学講義録 大正2年

東奘（せき）五郎 最新学説簿記法大意 宝文館 大正2年

東京高等商業学校編 經理制度之調査 東京高等商業学校 大正2年

東奘（せき）五郎 商業会計第2輯 大倉書店 大正3年（第1輯明治41年）

且睦良 会社会計論 有斐閣 大正3年

- 吉田良三 甲種商業簿記教科書（上，中，下） 同文館 大正3年8版（初版明治44年 第2回改版27版大正9年）
- 吉田良三 近世商業簿記 同文館 大正3年（改版大正7年 21版大正9年）
- 鹿野清次郎 計理学提要（上，下） 大倉書店 大正3年（訂正増補大正13-14年）
- 茂木英雄 銀行簿記 実業之日本社 大正3年
- 吉田良三 近世簿記精義 同文館 大正3年（改訂増補大正14年）
- 川戸藤吉 理論応用 実用簿記学講義 大正3年
- 帝国会計協会編 実用会計監査法 帝国会計協会 大正3年
- 石山賢吉 決算報告之見方 ダイヤモンド社 大正4年（大正5年3版 大正10年改訂12版 大正14年改訂増補）
- 川口西三 銀行簿記精義 同文館 大正5年（再版大正5年）
- 木村禎橘 最近簿記計理学綱要 宝文館 大正5年
- 田尻常雄・古館市太郎 英文簿記教科書 三友書院 大正5年3訂増補12版（初版明治39年）
- 佐藤雄能 株式会社会計 同文館 大正7年（修正6版大正8年）
- 国松豊 貸借対照表論：貸借対照表の解釈と批判（私経済学研究第1巻） 宝文館 大正8年

### 商工論から企業論・企業集中論へ

- 児林百合松 会社論 巖松堂 明治45年
- 佐藤寛次・山本謙治 産業組合の経営 成美堂 明治45年
- 東京高等商業学校調査部編 消費組合の調査（調査部第二回報告） 東京高等商業学校
- 上田貞次郎 株式会社経済論 富山房 大正2年（大正10年改訂増補6版 上田貞次郎全集 第2巻 第三出版 昭和50年所収）
- 実業之世界社編 三井と三菱 実業之世界社 大正2年
- 高垣寅次郎 銀行集中論 東京銀行集会所 大正3年

- 佐野次郎・垣内幸次郎 本邦企業者連合及合同 宝文館 大正3年（経済学  
商業学研究叢書第2冊）
- 松尾音次郎 我国商工業之現在及将来（企業集中と国家） 北文館 大正3  
年
- 石田伝吉 産業組合の設立と経営 有隣堂 大正3年  
農商務省商工局編（河津暹調査） 企業連合及合同論 農商務省商工局 大  
正3年
- 木村房次郎 最新会社設立案内 法政研究会 大正7年（大正10年10版）
- 佐藤寛次 産業組合講話 成美堂書店 大正7年  
社会政策学会編 小工業問題（社会政策学会論叢第11冊） 同文館 大正7  
年
- 金児一夫 株主の心得べき事柄 宝文館 大正8年
- 岩本善文 会社の創立と破綻 文武堂 大正8年
- 大蔵省臨時調査局金融部編 企業合同並銀行合併の趨勢 大蔵省臨時調査局  
大正8年
- 大蔵省臨時調査局金融部編 我国に於ける事業並銀行の合同集中の趨勢 大  
蔵省臨時調査局 大正8年
- 田尻稻次郎 投資及経営 誠文堂 大正8年

（かたおか・しんし／経営学部教授／2008年6月30日受理）